

第22回全日本学生新人ディベート大会 集計誤りの再発防止策について

今回、第22回全日本学生新人ディベート大会で発生した集計ミスがあり、ご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。本件発生の事象、原因、今後の再発防止策に関しましてご報告申し上げます。

【事象】

予選第3試合の以下の結果について、勝敗とバロットの集計の誤りがあった。

会場：Room2

肯定側：ITB-ALESSチーム

否定側：小魚ぼりぼりチーム

本来は、否定側の勝利（バロット：肯定側-87 否定側-87）とすべきところを、誤って、肯定側の勝利（バロット：肯定側-90 否定側-87）として集計が行われた。

結果、本来は「小魚ぼりぼりチーム」が予選順位が2位として決勝戦に進出するはずであったにもかかわらず、予選順位3位のチームを予選順位2位として扱ってしまった。

【原因】

直接の原因は、第3試合で実施した試合の結果について、ジャッジの判定が確定したことの確認を取らず、ジャッジが判定講評を行う前に記載していた勝敗/バロットの点数を集計したこと。

その結果、運営スタッフが集計を行った後に、ジャッジによる勝敗/バロットの変更があったため、上記の事象が発生した。

通常の大会では書面による提出であったためジャッジ判定の確定が自明であったが、オンライン形式の大会になった場合での、ジャッジ判定の確定タイミングの運用が確立していなかったことが、根本の原因である。

※運営委員ではオンライン形式での判定確定の課題が一部で認識されていたため、確定用のチェック欄を設けていたものの、運用が直前に決まったため周知徹底が不足していた

【大会結果の処置】

予選順位1位と予選順位3位で行われた決勝戦を無効とした。

優勝は、決勝戦で勝利した予選1位チームの「うさがみ」チームとし、

準優勝は、予選2位の「小魚ぼりぼり」チームと予選3位の「かるみ米」チームとした。

また、例年は決勝戦の出場選手から選出していたベストディベーター賞を、本大会では、対象無しした。

【再発防止策】

以下二つの施策を次回以降のオンライン大会で実施する。

①バロットシートに確定用のフォームを設置

バロットシートの末尾に確定用のフォームを設置し、ジャッジが勝敗/バロットの確定後にフォームを送信する。集計スタッフはフォームに確定の情報が送信されたことを確認し、転記作業を実施する運用とする。

②選手の確認の時間の確保

予選の試合の結果発表時に時間を設け、選手側から集計結果について確認をする時間を設ける。

【参考資料】

[改善案を盛り込んだバロットシート](#)

今後は集計ミスのないよう、上記の運用にそって細心の注意を払いながら大会運営を実施していきます。